

このお便りは、児童・生徒の皆さんが、充実した地域生活を送るために役立つ情報や取組について紹介しています。今回は「第2回学校公開」と「ボランティア養成講座」の様子をお伝えします。

令和6年度 「第2回学校公開」

令和6年9月13日（金）に「第2回学校公開」を実施しました。1回目（6月実施）は本校への入学・転入を検討している保護者や就学前施設、市町教育委員会を対象とし、2回目は地域の方を対象としました。多くの方に関心を寄せていただき、定員を上回る51人のお申し込みをいただきました。

当日は、病院、就学前施設・放課後等デイサービス事業所・福祉施設・相談支援事業所・行政等の職員の方に御参加いただき、本校の概要説明と授業見学を行いました。

参加者のアンケートには「このように地域に開かれた学校は、信用できると感じました。」「病院での姿しか見ていませんでしたので、とても貴重な機会となりました。」「特別支援学校での教育内容を実際に見ることができ、先生方の子供たちへの声掛けや関わり方を知ることができました。」等の、様々な視点からの感想をいただきました。地域の方や関係機関の方に、今後も本校の教育活動を知っていただく機会を設け、地域に開かれた学校づくりに努めます。



地域の方向け「ボランティア養成講座」



都立特別支援学校では、障害のある方を支える地域づくりを目指し、都民の方に障害理解につながる活動をする機会を設けています。本校では「ボランティア養成講座」（全3回）を開講しました。

第1回・第2回は、特別支援学校卒業生の増田若奈さん、川畑智幸さんをお迎えし、障害当事者としての思いや、御自身が行っている余暇活動の紹介等をしていただきました。

第3回は、車いすバスケットボール元日本代表で、現在も各地で車いすバスケットボール教室の講師をされている多智利枝さんに御指導いただき、車いすバスケットボールの体験を行いました。

3名の講師の方々からは、受講生に対して「介助者の方には、当事者と一緒に活動を楽しんでもらえると嬉しい。コミュニケーションを取りながら、当事者と介助者と一緒に成長したい。」「身体介助をするだけでなく『エレベーターがこちらにありますよ』等の情報提供も、とてもありがたい」というお話をいただきました。

講座には、子供と関わるお仕事をされている方や、高校生等、計10名の方に御参加いただきました。3日間の受講から「方法やルールを工夫すると、障害がある人もない人も一緒にスポーツを楽しむことが分かった。」「困っていることは人それぞれ違うので、コミュニケーションをとりながら相手を理解することが大切だと学んだ。」等の感想をいただき、障害がある方への理解を深めてくださいました。

